

Novell Identity Manager Roles Based Provisioning Module 3.7 Readme

Novell®

2009年9月18日

このドキュメントには、Identity Manager Roles Based Provisioning Module、バージョン 3.7 の既知の問題が記載されています。IDM Roles Based Provisioning Module 3.6.1 の問題のうち、このリリースで修正された問題のリストについては、[18 ページのセクション 2 「3.7 で修正された問題」](#) を参照してください。

マニュアルリソースは定期的に更新されます。必要に応じて修正および拡張が行われます。更新に関しては、[Roles Based Provisioning Module 3.7 製品マニュアル \(http://www.novell.com/documentation/idmrpbm37/index.html\)](http://www.novell.com/documentation/idmrpbm37/index.html) Web サイトを確認してください。特に、『ユーザアプリケーション: 管理ガイド』および『ユーザアプリケーション: マイグレーションガイド』では、今後の更新で追加機能の説明が含まれます。Designer 3.5 Readme のメモについては、『[Designer 3.5 Readme \(http://www.novell.com/documentation/designer35/readme/readme.html\)](http://www.novell.com/documentation/designer35/readme/readme.html)』を参照してください。

- ◆ [1 ページのセクション 1 「3.7 の既知の問題」](#)
- ◆ [18 ページのセクション 2 「3.7 で修正された問題」](#)
- ◆ [18 ページのセクション 3 「マニュアルの表記規則」](#)
- ◆ [18 ページのセクション 4 「保証と著作権」](#)

1 3.7 の既知の問題

次の項では、Roles Based Provisioning Module のバージョン 3.7 の既知の問題について説明します。

- ◆ [3 ページのセクション 1.1 「テーマのサポート」](#)
- ◆ [4 ページのセクション 1.2 「ユーザが独自の情報を変更できるようにする手順」](#)
- ◆ [5 ページのセクション 1.3 「IE7 における NVDA Reader によるパスワード表示」](#)
- ◆ [5 ページのセクション 1.4 「Firefox 2.0 でユーザがパスワードを変更できない」](#)
- ◆ [5 ページのセクション 1.5 「\[ブラウザ\] フィールドをクリックすると、FireFox 3 でのブラウザ機能が起動されます。」](#)
- ◆ [5 ページのセクション 1.6 「FireFox 2 でロケールを保存するとエラーページが表示される」](#)
- ◆ [6 ページのセクション 1.7 「Novell GroupWise Portlets の削除」](#)
- ◆ [6 ページのセクション 1.8 「パスワードを忘れた場合の外部 WAR ファイル名を configupdate バッチファイルの中で手動によって名前変更する必要がある」](#)
- ◆ [7 ページのセクション 1.9 「Adobe Reader 8.0 を使用して IE 7 でビジネス役割に関する役割リストレポートを取得中にエラーが表示される」](#)
- ◆ [7 ページのセクション 1.10 「MySQL データベースを 3.6 から 3.7 に移行する際、データベース間で大文字小文字の設定が一貫している必要がある」](#)

- ◆ 7ページのセクション 1.11 「新しく削除された割り当てで発生するキャッシングの問題」
- ◆ 7ページのセクション 1.12 「SOAP リリースサービスのリンクが [管理] タブに表示されていない」
- ◆ 7ページのセクション 1.13 「Firefox 2 において役割とリソースの割り当て内の一部のテキストフィールドでカーソルが表示されない」
- ◆ 8ページのセクション 1.14 「ドライバの再起動時に未処理の役割要求が再評価されない」
- ◆ 8ページのセクション 1.15 「ブラウザをリフレッシュすると管理モードが中止する」
- ◆ 8ページのセクション 1.16 「eDirectory で NDS_D_TRY_NMASLOGIN_FIRST を true に設定する必要がある」
- ◆ 8ページのセクション 1.17 「役割および SoD の名前で行きつかサポートされない文字がある」
- ◆ 9ページのセクション 1.18 「要求詳細内の検証者が検証結果に基づいてフィルタされない」
- ◆ 9ページのセクション 1.19 「Novell Secure Login 6.1 および 7.0 が RBPM との互換性がない」
- ◆ 9ページのセクション 1.20 「管理モードでユーザが選択した役割が先読み機能で選択されない」
- ◆ 9ページのセクション 1.21 「ステータスフィルタの条件を変更すると検証結果別フィルタが機能しない」
- ◆ 10ページのセクション 1.22 「エンドユーザ向けのタスク通知でタイムアウトフィルタが機能しない」
- ◆ 10ページのセクション 1.23 「Firefox 3.0.5 でユーザインタフェースが不要なエラーメッセージを生成する場合がある」
- ◆ 10ページのセクション 1.24 「リンクをダブルクリックするとダイアログの複数のインスタンスが開く」
- ◆ 10ページのセクション 1.25 「ログイン名に * または + が含まれている場合に空白ページが表示される」
- ◆ 10ページのセクション 1.26 「役割ドライバおよびリソースドライバが初めて開始される際に既存の要求を処理しない」
- ◆ 11ページのセクション 1.27 「クライアント側のパフォーマンスを最善にするためにブラウザキャッシュを有効にする」
- ◆ 11ページのセクション 1.28 「IE 7 または 8 のパスワード同期ステータス UI でオブジェクトセレクタが表示されないことがある」
- ◆ 11ページのセクション 1.29 「確認メッセージが表示されないフィールドがある」
- ◆ 11ページのセクション 1.30 「SSO 管理 UI でブラウズボタンがローカライズされていない」
- ◆ 11ページのセクション 1.31 「素早くクリックすると表示エラーになる」
- ◆ 12ページのセクション 1.32 「レポート管理者がまだ実装されていない」
- ◆ 12ページのセクション 1.33 「チームマネージャが [関係による割り当て] を使用して委任割り当てを作成できない」

- ◆ 12 ページのセクション 1.34「役割レポートを実行するには PDF プラグインが必要である」
- ◆ 12 ページのセクション 1.35 「印刷ビューの中で組織図にイメージが表示されない」
- ◆ 12 ページのセクション 1.36 「結果のデフォルト値がゼロの場合、ユーザアプリケーションに結果が表示されない」
- ◆ 13 ページのセクション 1.37「ユーザアプリケーションが起動時に SSO 互換性エラーを生じる」
- ◆ 13 ページのセクション 1.38 「スクリーンリーダーのサポート」
- ◆ 13 ページのセクション 1.39「クラスタ内で EboClusterManager エラーが発生することがある」
- ◆ 13 ページのセクション 1.40 「NrfCaseUpdate が IP アドレスを使用できない」
- ◆ 14 ページのセクション 1.41「Windows 2003 Server SP1 に関する NrfCaseUpdate の問題」
- ◆ 15 ページのセクション 1.42「インストールがフランス語のロケールと MS SQL に関してコンソールモードでデータスキーマの作成に失敗する」
- ◆ 16 ページのセクション 1.43 「SSO の認証ヘッダで猶予ログインカウンタが正しくない」
- ◆ 16 ページのセクション 1.44 「チームマネージャに対して関連付けレポートが機能しない」
- ◆ 16 ページのセクション 1.45 「ユーザ CN で、より大きい記号およびより小さい記号がサポートされない」
- ◆ 17 ページのセクション 1.46「OpenXDAS が使用可能になっていて xdasd が起動されていないと、サーバの起動に失敗する」
- ◆ 17 ページのセクション 1.47 「共有またはコンテナページ名で、より小さい記号の後のテキストが切り捨てられる」
- ◆ 18 ページのセクション 1.48 「デジタル署名をサポートするのに Internet Explorer 7.0 でプロテクトモードを無効にする必要がある」

1.1 テーマのサポート

バージョン 3.7 では、次のテーマがサポートされています。

- ◆ BlueGloss
- ◆ Neptune (このリリースで導入された新テーマ)

ユーザアプリケーションの以前のバージョンで導入されたテーマのいくつかは、このリリースでは非推奨になっています。次のテーマが非推奨になっています。

- ◆ Manilla
- ◆ Linen
- ◆ Medico
- ◆ IDMStandard

これらのテーマは、現リリースではサポートされなくなっています。[管理] タブの [テーマ管理] ページからはこれらのテーマはいずれも選択できません。

Manilla、Linen、Medico、および IDMStandard のテーマは、将来的なリリースで廃止される可能性が高いです。これらのいずれかのテーマを使用している場合は、それらをユーザーアプリケーションのバージョン 3.7 に移行する必要があります。非推奨になったこれらのテーマのいずれかに基づくカスタムテーマを使用している場合は、以下の手順に従ってテーマを移行する必要があります。

- 1 カスタムテーマがないか theme.css の中身を調べ、あった場合はそのテーマに含まれるカスタムセクタ (新規または編集済み) を BlueGloss か Neptune テーマのいずれかにコピーします。
- 2 新しいカスタムテーマを保存します。これには、カスタマイズの結果と、BlueGloss または Neptune テーマからのセクタが含まれています。

1.2 ユーザが独自の情報を変更できるようにする手順

このセクションでは、一般的なユーザが自己変更手順を実施できるようにする手順について説明します。

ユーザが自己変更を実行できるようにするには、次の手順を実行します。

- 1 iManager で、[環境設定] > [iManager サーバ] > [iManager の環境設定] > [その他] タブに移動します。
 - 1a [[this] を有効にする] の隣にあるチェックボックスをオンにします。
 - 1b [保存] を押します。
- 2 iManager で、[オブジェクトの表示] へ移動し、目的のコンテナ (すなわち、support-idm.novell) に移動します。
 - 2a ユーザが存在するコンテナ (users.support-idm.novell) を選択し、[トラスティを変更] を選択します。
 - 2a1 [トラスティを追加] ボタンを押し、[This] を選択します。
 - 2a2 [OK] をクリックします。
 - 2b [This] の左側にある [割り当て済み権限] リンクを選択します。
 - 2b1 [すべての属性権限] または [エンティティ権限] は変更しないでください。
 - 2b2 「Object Class」属性を追加し、[書き込み]、[自己割り当て済み権限] の順に選択し、[継承] を有効にします。
 - 2b3 継承した属性 (すなわち、Title) を追加し、[書き込み]、[自己割り当て済み権限] の順に選択し、[継承] を有効にします。
 - 2b4 [完了] を押します。
 - 2b5 [適用] を押します。
 - 2b6 [OK] をクリックします。
- 3 Designer for Novell Identity Manager 内で、上記の手順 2、b3 で追加された属性に対して変更されるエンティティのディレクトリ抽象化レイヤ内で [編集] が有効になっているか確認します。属性が編集可能でない場合は、[編集] を有効にし、展開します。
- 4 JBoss アプリケーションサーバを再起動します。
- 5 アプリケーションをテストします。

1.3 IE7 における NVDA Reader によるパスワード表示

Internet Explorer 7 では、ユーザがログイン画面でパスワードを入力し、[パスワード] フィールドに入ったままで <Backspace> を押すと、NVDA Reader がパスワードに入力された文字を読み出してしまい、パスワードの内容が明らかになってしまいます。この現象は、Firefox では発生しません。

これは、NVDA Reader ソフトウェアで発生する既知の問題です。

1.4 Firefox 2.0 でユーザがパスワードを変更できない

Firefox 2.0.0.2 と 2.0.0.11 では、パスワード管理にある [パスワードの変更] リンクを使用して自分のパスワードを変更できません。

この問題は、Firefox 2.0.0.2 および 2.0.0.11 で次の手順を実行することで再現します。

- 1 有効なユーザ資格情報を使用して、ユーザアプリケーションにログインします。
- 2 [Identity セルフサービス] をクリックします。
- 3 パスワード管理にある [パスワードの変更] リンクをクリックします。
- 4 [古いパスワード]、[新しいパスワード]、[パスワードを再入力してください] の各フィールドに詳細を入力し、[送信] ボタンをクリックします。

これらの手順を実行すると、パスワードの変更を確認するメッセージがユーザに表示されます。それにもかかわらず、メッセージが表示されず、パスワードが変更されません。ページは同じままになります。ユーザアプリケーション内で、ユーザが他のリンク (組織図など) をクリックした場合、ユーザはログインページにリダイレクトされます。

1.5 [ブラウザ] フィールドをクリックすると、Firefox 3 でのブラウザ機能が起動されます。

Firefox 3 ブラウザを実行中に、[管理] タブ上の [SSO 設定] ページにアクセスし、ブラウザフィールドをクリックすると、ユーザインタフェースにより、ブラウザ機能がポップアップされます。これは、GWT での既知の問題です。詳細については、https://bugzilla.mozilla.org/show_bug.cgi?id=258875 (https://bugzilla.mozilla.org/show_bug.cgi?id=258875) を参照してください。

1.6 Firefox 2 でロケールを保存するとエラーページが表示される

Firefox 2.0.0.11 では、ロケールを保存しようとする時、確認メッセージの代わりにエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示されたら、ユーザアプリケーション内で任意のリンクまたはタブをクリックすると、ログインページが表示されます。Firefox 2 を使用するつもりである場合、Firefox では、バージョン 2 のブラウザのサポートを停止したため、最新版 (2.0.0.20) を使用する必要があります。

1.7 Novell GroupWise Portlets の削除

Novell Identity Manager Roles Based Provisioning Module (RBPM) のバージョン 3.7.0 では、Novell GroupWise Portlets が完全に削除されています。RBPM の以前のバージョンからアップグレードする場合は、アップグレードのプロセス中に Novell GroupWise Portlets が削除されます。

オープンソースの JSR-168 Novell GroupWise Portlets が利用できます。これらのポートレットについてさらに学習するには、http://developer.novell.com/wiki/index.php/Novell_Collaboration_Portlets (http://developer.novell.com/wiki/index.php/Novell_Collaboration_Portlets) にアクセスしてください。

Novell Collaboration Portlets には、JBoss ポータルと Liferay ポータルへそれらを展開する方法に関する説明が含まれています。

Novell Collaboration GroupWise Portlets は、現在、RBPM ポータルでは動作しません。この問題を解決するために、バグ 476982 を記録して、これらのポートレットの責任者である開発者に報告してあります。GroupWise Portlets を RBPM ポータルと使用する必要がある場合は、ブロックの問題が解決するまで RBPM ポータルと上記に掲載された 2 つのポータルのいずれかの両方を使用する必要があります。または、RBPM バージョン 3.7.0 と独自仕様の Novell GroupWise Portlets を含んでいる以前のバージョンの使用を試すことができます。

1.8 パスワードを忘れた場合の外部 WAR ファイル名を configupdate バッチファイルの中で手動によって名前変更する必要がある

configupdate スタンドアロンモードの実行中、ユーザが [外部パスワード WAR の使用] チェックボックスをオンにすると、外部 WAR ファイル名が、[パスワードを忘れた場合のリンク] フィールドに指定された名前に変更されます。たとえば、[パスワードを忘れた場合のリンク] に、<http://localhost:8080/NewExtWar/jsps/pwdmgt/ForgotPassword.jsp> というように入力されている場合、パスワードを忘れた場合の外部 WAR 名は NewExtWar.war に名前が変更されます。

上記の手順が完了したら、configupdate プロセスの最後に、名前変更が成功している場合、次のメッセージが表示されます。

```
Renaming external war file from
/data/novell/trunk/runtime/build-library/ExtPwdMgt.war to
/data/novell/trunk/runtime/build-library/NewExtWar.war is successful, please
update configupdate.sh or configupdate.bat parameter -extFile to reflect
renamed war name.
```

WAR ファイル名の名前変更は、手動によるプロセスです。このプロセスを完了するには、configupdate.sh または configupdate.bat を編集して -extFile パラメータを変更して、新しいパスワードを忘れた場合の外部 WAR 名を反映するようする必要があります。上記の例を完了するには、パラメータを次のように変更する必要があります。

```
-extFile /data/novell/trunk/runtime/build-library/NewExtWar.war in above case.
```

1.9 Adobe Reader 8.0 を使用して IE 7 でビジネス役割に関する役割リストレポートを取得中にエラーが表示される

Internet Explorer 7 で、ビジネスレベルを役割レベルに指定した状態で役割リストレポートを生成しようとする、Adobe Reader 8.0 を使用している場合、次のエラーメッセージが表示されます。

```
Internet Explorer cannot display the page
```

これは、Adobe Reader 8.0 での既知の問題です。この問題を修正するには、Reader を更新する必要があります。

1.10 MySQL データベースを 3.6 から 3.7 に移行する際、データベース間で大文字小文字の設定が一貫している必要がある

RBPM 3.6 から 3.7 に移行する場合、大文字小文字の区別の設定が 3.6 データベースと 3.7 データベース間で一貫している必要があります。さらに、ansi モードを使用し、同一の文字セットと照合値を使用する必要があります。

大文字小文字を区別するかを設定するには、移行中に `lower_case_table_names` の値がデータベースのバージョン間で一貫させる必要があります。次に、この値の設定方法を示します。

```
set-variable=lower_case_table_names=0
```

1.11 新しく削除された割り当てで発生するキャッシングの問題

役割またはリソースの割り当てを作成してそれを削除すると、割り当てが削除されているというメッセージが表示されますが、割り当てがそのまま一覧表示されます。ページを更新すると、割り当てが削除されたというメッセージが恐らく表示されます。これはキャッシングの問題によって発生します。

1.12 SOAP リリースサービスのリンクが [管理] タブに表示されていない

ユーザアプリケーション内の [管理] タブには、新しいリソースサービスへの左のナビゲーションリンクが含まれていません。この機能は、このリリースでは利用できません。この機能は、将来的なリリースで追加される可能性があります。

1.13 Firefox 2 において役割とリソースの割り当て内の一部のテキストフィールドでカーソルが表示されない

Firefox 2 では、役割とリソースの割り当て用の [フィルタ] ダイアログの中の一部のフィールドでは、フィールドをクリックした際にカーソルが表示されません。これは、Firefox 2 の既知のバグです。

1.14 ドライバの再起動時に未処理の役割要求が再評価されない

処理されていない役割要求 (ステータスが 0) は、役割サービスドライバが再起動された後に再評価されないことがあります。たとえば、役割サービスドライバ (TestRoleDriver) がユーザアプリケーション A をポイントしているとします (間違った設定)。ドライバ B をポイントしているユーザアプリケーションがユーザに役割を割り当てるのに要求を送信します。役割ドライバがアプリケーションドライバ B に対して設定されているので、要求が受信されることはありません。TestRoleDriver は、ユーザアプリケーションドライバ B をポイントするように再設定され、再起動されます。ただし、既存の役割要求の状態は 0 から変化しないので、要求は処理されません。

1.15 ブラウザをリフレッシュすると管理モードが中止する

管理モードの状態では、ブラウザをリフレッシュすると、管理モードが中止されます。この問題は、管理モードの状態が JavaScript に保存されているために発生します。

この動作は、Internet Explorer と FireFox でみられます。

1.16 eDirectory で NDSD_TRY_NMASLOGIN_FIRST を true に設定する必要がある

eDirectory のデフォルトインストールを実行し、パスワードポリシー (ユーザアクションに対する電子メールパスワードを持つ) を既存のユーザに適用し、このユーザでログインして、パスワードを忘れた場合の手順を実行すると、チャレンジ/レスポンス方式の質問に答えた後、[汎用パスワードが設定されていません] というメッセージが表示される場合があります。

この問題を修正するには、次の 2 つの手順を実行する必要があります。

1. eDirectory のバージョンが 8.8 以降であることを確認します。
2. eDirectory の起動スクリプト ndsd を変更し、NDSD_TRY_NMASLOGIN_FIRST を設定する条件を次のようにコメントアウトします。

```
#if [ -d /opt/novell/xad/lib/nds-modules ]; then
NDSD_TRY_NMASLOGIN_FIRST=true
export NDSD_TRY_NMASLOGIN_FIRST
#fi
```

注: Windows のドメインサービスが OES2 によってインストールされている場合は、/opt/novell/xad/lib/nds-modules というディレクトリが存在するか確認します。このディレクトリがすでに存在する場合は、2 番目の手順で説明した変更は必要ありません。

1.17 役割および SoD の名前でいくつかサポートされない文字がある

役割または役割分担 (SoD) の制約を作成する場合、特定の文字を含めないようにすることが必要です。次の文字は、役割と役割分担 (SoD) の制約名の中でサポートされていません。

< > , ; \ " + # = / | & *

名前の初めまたは終わりにあるスペースは自動的に削除されます。

1.18 要求詳細内の検証者が検証結果に基づいてフィルタされない

[整合性] タブ > [検証要求のステータスを表示] > [要求の詳細] では、ステータスフィルタの条件も変更する場合は、[検証結果別フィルタ] が機能しない場合があります。一部の検証者の列は、フィルタの条件に一致しないのにそのまま表示されることがあります。回避策として、[ステータス] を選択して [フィルタ] をクリックし、[検証結果] を選択して [フィルタ] を再度クリックします。

1.19 Novell Secure Login 6.1 および 7.0 が RBPM との互換性がない

Novell Secure Login 6.1 および 7.0 を Role Based Provisioning Module と使用すると、パスワード管理の領域で問題が発生します。これらの問題については、Novell Secure Login の将来のリリースで対応される予定です。

1.20 管理モードでユーザが選択した役割が先読み機能で選択されない

役割またはリソースに対する先読みのサポートでは、先読みリスト内の最後の項目を選択する際に、リストの最後の値の文字が最も少なく、単語が 1 つしかない場合、問題が発生する可能性があります。たとえば、「Test」と入力したと仮定すると、リストには次の値が表示されている順序で表示されます。

```
Test2  
Test
```

Test を選択し、いずれか他の場所をクリックすると、Test2 が選択されます。エンドユーザは、「Test」と入力する代わりに、[ファインダ] アイコンをクリックして Test を検索することで、この問題を回避できます。役割管理者は、Test で始まる役割を一時的に追加してその後削除することで、問題が発生しないようにできます。リストを (次に示すように) 適切にソートすると、この問題は発生しません。

```
Test  
Test2
```

1.21 ステータスフィルタの条件を変更すると検証結果別フィルタが機能しない

[ステータス] フィルタの条件も変更すると、[整合性] タブの [検証要求を表示] > [要求の詳細] 画面で、[検証結果別フィルタ] 機能が働かない場合があります。一部の検証者の列は、フィルタの条件に一致しないのにそのまま表示されることがあります。回避策として、[ステータス] を選択して [フィルタ] をクリックし、[検証結果] を選択して [フィルタ] を再度クリックします。

1.22 エンドユーザ向けのタスク通知でタイムアウトフィルタが機能しない

エンドユーザのログイン時、タイムアウトフィルタが [ワークダッシュボード] 上の [タスク通知] リストで機能しません。プロビジョニングチームマネージャがログインし、別のユーザを管理していない場合もタイムアウトフィルタが機能しません。このマネージャが他のユーザを管理している場合は、タイムアウトフィルタは予想通り機能します。プロビジョニング管理者またはプロビジョニングマネージャがログインしても、タイムアウトフィルタは予想通りに機能します。

1.23 Firefox 3.0.5 でユーザインタフェースが不要なエラーメッセージを生成する場合があります

ワークダッシュボードをブラウザし、アプリケーションの他の部分とやりとりするのに Firefox 3.0.5 を使用している際に、「“Permission denied to get property Window.JUICE”。」というテキストのエラーメッセージが表示される場合があります。このメッセージは、実際のエラーやアプリケーションの問題を示すものではありません。この動作を修正するには、Firefox 3.0 の最新版にアップグレードします。

1.24 リンクをダブルクリックするとダイアログの複数のインスタンスが開く

ユーザアプリケーションの「役割」、「リソース」、および「SoD」セクション内のリンクをダブルクリックすると、1つ以上のダイアログを開くことができます。たとえば、役割を選択し、リンクの編集をクリックすると、ダイアログの2つのインスタンスが表示されます。この問題を回避するには、単に余分なダイアログを閉じます。

1.25 ログイン名に * または + が含まれている場合に空白ページが表示される

ユーザの CN に * または + が含まれている場合、ログイン時にユーザアプリケーションには空白ページが表示されます。ログイン名にはこれらの文字は使用しないでください。

1.26 役割ドライバおよびリソースドライバが初めて開始される際に既存の要求を処理しない

役割ドライバおよびリソースドライバが初めて開始される前にユーザアプリケーションによって作成された役割要求は処理されません。これらの要求は、ユーザアプリケーション内で [実行中: 新規要求] というステータスになります。使用中のユーザアプリケーション内でこの状態の要求がある場合は、役割ドライバおよびリソースドライバに同期を実行することでそれらの要求を処理できます。同期プロセスには、ツリーのサイズに応じて時間がかかる場合があることに注意してください。

1.27 クライアント側のパフォーマンスを最善にするためにブラウザキャッシュを有効にする

RBPM 3.7 は、GWT (Google Web Toolkit) を使用します。このツールキットでは、ユーザセッションごとにロードされるのではなく、ユーザのブラウザによってキャッシュされることを目的としたアプリケーションコードがファイルで保存されます。そのため、最善のパフォーマンスを得るためにブラウザ上でキャッシュを有効化することを推奨します。

1.28 IE 7 または 8 のパスワード同期ステータス UI でオブジェクトセレクトアが表示されないことがある

Internet Explorer 7 または 8 を使用して、ユーザアプリケーションの [管理] > [アプリケーション環境設定] > [パスワード同期ステータス] ページ内の [パスワード同期ステータスのアプリケーション] を追加または更新しようとする管理者は、アプリケーション名のローカライズされた値を編集する前に、展開された言語リストを使用して [アプリケーション DirXML-PasswordSyncStatus GUID] または [従属ドライバ] の詳細を入力する必要があります。いったん言語リストが展開されると、詳細設定で使用されたオブジェクトセレクトアが表示されなくなります。

オブジェクトセレクトアに関連する表示上の問題を修正するには、編集をキャンセルして設定ウィンドウを閉じるか、未完了の詳細を保存して設定を再度開くと、オブジェクトセレクトアは正常に機能します。

1.29 確認メッセージが表示されないフィールドがある

無効な値には確認メッセージが表示されるはずですが、[リソースの割り当て] ウィンドウまたは [承認足数の割合] 内のフィールドには表示されないことがあります。これは、たとえば、ユーザが [クリア] をクリックしてから [送信] をクリックした場合、または %、\$、または - 文字を入力した場合に発生します。

1.30 SSO 管理 UI でブラウザボタンがローカライズされていない

ユーザアプリケーションの [管理] > [シングルサインオン (SSO)] のセクションでは、[SSO コントローラ設定] および [SSO プロバイダ] 領域内の [署名証明書] および [署名キー] 用の [ブラウザ] ボタンがローカライズされていません。これらのボタンは、常に英語で [Browse...] と表示されます。

完全にローカライズされたブラウザのバージョンをインストールする必要があります (つまり、スペイン語による完全バージョンの Firefox または Internet Explorer をインストールする必要があります)。ブラウザ内の言語を英語から他の言語に単に変更しても、これらの HTML コントロールが翻訳を行うことはありません。これらの HTML コントロールは、UA ではなくブラウザによって制御されます。これは HTML コントロールのデフォルトの動作です。

1.31 素早くクリックすると表示エラーになる

ユーザアプリケーション内で素早く移動していると、時々データのロードエラーが発生することがあります。この動作が起こるのは、AJAX コントロールがサーバコールを完了できないためです。

1.32 レポート管理者がまだ実装されていない

このリリースで導入されたレポート管理者のシステム役割は、まだ実装されていません。この役割は役割カタログで割り当てられますが、この役割を割り当てようとすると、ランタイム例外が発生します。ユーザインタフェース内では、割り当てが要求された際、何も起こりません。

レポート管理者役割の機能は、将来のリリースで実装されます。

1.33 チームマネージャが [関係による割り当て] を使用して委任割り当てを作成できない

チームマネージャは、[関係による割り当て] の割り当てタイプを使用してチーム委任割り当てを作成できます。PRD に関する委任割り当ての実行を明示的に許可されているプロビジョニングマネージャのみが [関係による割り当て] の割り当てタイプを使用してその PRD に関する委任割り当てを作成できます。

1.34 役割レポートを実行するには PDF プラグインが必要である

役割レポートを実行すると、PDF が生成されます。ブラウザに PDF プラグインがインストールされていない場合は、ファイルを保存するように要求され、ファイル名を指定する必要があります。この状況を回避するには、レポートを実行する前に Adobe PDF プラグインをインストールしてください。

1.35 印刷ビューの中で組織図にイメージが表示されない

印刷ビューの中では、組織図にイメージが表示されません。印刷図ポートレットの中で [印刷アイコン] が選択されると、印刷可能なビューに図が適切に表示されますが、ユーザイメージは含まれていません。

1.36 結果のデフォルト値がゼロの場合、ユーザアプリケーションに結果が表示されない

設定管理者が [管理] タブの [プロビジョニング UI 表示設定] ページで [1 ページに表示するデフォルトの結果数] の値をゼロに変更した場合、[ワークダッシュボード] ページでは、[タスク通知]、[リソースの割り当て]、[役割の割り当て]、および [要求ステータス] の詳細表示に失敗します。さらに、[役割とリソース] タブの [役割カタログ]、[リソースカタログ]、および [SOD カタログ] の各ページ、および [管理] タブの [管理者の割り当て] ページには結果が表示されません。

[1 ページに表示するデフォルトの結果数] がゼロに設定されていると、上記に記載されているページにはすべての結果が表示され、1 ページに表示されるデフォルトの結果数がゼロになるはずですが、それにもかかわらず、ページには結果が表示されず、ワークダッシュボードの [要求ステータス] セクションを展開すると、ブラウザがハングアップします。

1.37 ユーザアプリケーションが起動時に SSO 互換性エラーを生じる

[管理] > [キャッシュ] ページで JAASManager のログレベルをトレースに設定し、ユーザアプリケーションを再起動すると、スタックトレース内に次のエラーメッセージが表示されます。

```
com.novell.common.auth.saml.ConfigureException: Failed to initialize SSO due
to
improper environment.
    at
com.novell.common.auth.saml.AuthTokenGenerator.<init>(AuthTokenGenerator.java
:82)
    at
com.novell.common.auth.saml.AuthTokenGeneratorFilter.init(AuthTokenGeneratorF
ilter.java:281)
```

次の手順では、この問題に対するソリューションを説明します。

- 1 競合している opensaml jar を次の Weblogic のシステムフォルダから削除します。

```
./bea/modules/com.bea.core.bea.opensaml_1.0.0.0_5-0-2-0.jar
../bea/modules/com.bea.core.bea.opensaml2_1.0.0.0_5-0-2-0.jar
```

- 2 Apache JAXP の実装を承認します。

```
../bea/jrockit_160_05/jre/lib/endorsed

-rw-r--r-- 1 lab lab 84091 May 21 10:24 resolver-2.9.1.jar
-rw-r--r-- 1 lab lab 278286 May 21 10:24 serializer-2.9.1.jar
-rw-r--r-- 1 lab lab 3176148 May 21 10:24 xalan-2.7.1.jar
-rw-r--r-- 1 lab lab 1229289 May 21 10:24 xercesImpl-2.9.1.jar
-rw-r--r-- 1 lab lab 194354 May 21 10:24 xml-apis-2.9.1.jar
```

上記の jar は、Apache からダウンロードするか、<http://shibboleth.internet2.edu/downloads/opensaml/java/2.2.0/opensaml-2.2.0-bin.zip> 中の“endorsed”フォルダから取得できます。

1.38 スクリーンリーダーのサポート

アクセス性のテスト時には、NVDA v. 0.6p3 スクリーンリーダーが使用されていました。

1.39 クラスタ内で EboClusterManager エラーが発生することがある

クラスタ環境では、EboClusterManager エラーが発生することがあります。クラスタに含まれるサーバにキーを削除するためのキャッシュ通知が送信されたにもかかわらず、リモートキャッシュ内にキーが存在しない場合にこのエラーが発生します。

1.40 NrfCaseUpdate が IP アドレスを使用できない

『インストールガイド』では、NrfCaseUpdate ユーティリティの実行時に、IP アドレスを使用して eDirectory サーバに接続する方法について説明しています。ただし、IP アドレスの使用が機能しません。NrfCaseUpdate ユーティリティは、eDirectory サーバの DNS 名を具体的に要求します。

Specify the DNS address of the Identity Vault (e.g acme.com)

NrfCaseUpdate プロセスは、IP アドレスが提供されると続行し、更新が正常終了したことを報告します。ただし、schema.log (Linux または Solaris) か Modschema.log (Windows) の内容を確認すると、スキーマが実際は更新されていないことが分かります。また、2つの属性 (nrfLocalizedNames および nrfLocalizedDescrs) を iManager または ConsoleOne で表示すると、*[大文字と小文字を無視した文字列]* ではなく *[大文字と小文字が正確な文字列]* とマークされたままになっているのが分かります。

スキーマが更新されている場合、次のようなエントリが表示されます。

Windows:

```
Begin schema update for: C:\Program Files\Novell\Identity
Manager\update-nrf-case.sch
(Note: Successfully resolved to server: .myserver-NDS.novell.myTREE)
Modifying schema attributes...
(Note: Successfully resolved to server: .myserver-NDS.novell.myTREE)
  : Different from existing definition, will attempt to modify
    Syntax: Modified OK
  : Different from existing definition, will attempt to modify
    Syntax: Modified OK
Schema update summary: 0 warnings and 0 errors
```

Linux:

```
Starting schema update for: update-nrf-case.sch...
Modified schema attribute nrfLocalizedNames.Modified schema attribute
nrfLocalizedDescrs.
```

Nrf CaseUpdate ユーティリティでは、マシン名 (例: myserver) または完全修飾名 (例: myserver.novell.com) を使用できます。

1.41 Windows 2003 Server SP1 に関する NrfCaseUpdate の問題

Windows 2003 Server SP1 のインスタンスの一部では、nrfLocalizedNames および nrfLocalizedDescrs のスキーマが NrfCaseUpdate ユーティリティを実行した結果、変更されません。ユーティリティでは、プロセスが正常に終了したと報告されます。ただし、スキーマが変更されたことを説明するエントリが Modschema.log に含まれていません。更新によりスキーマが変更された場合、次のようなエントリが Modschema.log に書き込まれます。

```
Begin schema update for: C:\Program Files\Novell\Identity
Manager\update-nrf-case.sch
(Note: Successfully resolved to server: .myserver-NDS.novell.myTREE)
Modifying schema attributes...
(Note: Successfully resolved to server: .myserver-NDS.novell.myTREE)
  : Different from existing definition, will attempt to modify
    Syntax: Modified OK
  : Different from existing definition, will attempt to modify
    Syntax: Modified OK
Schema update summary: 0 warnings and 0 errors
```

また、2つの属性 (nrfLocalizedNames および nrfLocalizedDescrs) を iManager または ConsoleOne で表示すると、*[大文字と小文字を無視した文字列]* ではなく *[大文字と小文字が正確な文字列]* とマークされたままになっているのが分かります。

この問題を回避するには、2つの方法があります。

- ◆ Windows 2003 Server SP2 にアップグレードします。
- ◆ 上記で説明した NrfCaseUpdate プロセスが正常終了しない場合に、2つの属性が変更されない場合は、ldif ファイル(当てはまる場合)のインポートを続行したり、インストールを続行したりする前に install.dim を使用してスキーマの変更をインポートする必要があります。
 1. [スタート] > [コントロールパネル] > [Novell eDirectory サービス] > [install.dlm] の順にクリックします。
 2. [追加スキーマファイルのインストール] を選択して、[次へ] を押します。
 3. eDir サーバに接続するための情報を入力し、[OK] を押します。
 4. update-nrf-case.sch ファイルに移動して選択し、[完了] を押します。

1.42 インストールがフランス語のロケールと MS SQL に関してコンソールモードでデータスキーマの作成に失敗する

Microsoft SQL Server 2005 と言語にフランス語を使用してコンソールモードでインストールすると、データベーステーブルが作成されません。次のようなエラーが db.out ファイルに記述されます。

```
SEVERE: null
liquibase.exception.JDBCException: java.lang.ClassNotFoundException: null
    at
liquibase.commandline.CommandLineUtils.createDatabaseObject(CommandLineUtils.
java:97)
    at liquibase.commandline.Main.doMigration(Main.java:578)
    at liquibase.commandline.Main.main(Main.java:97)
Caused by: java.lang.ClassNotFoundException: null
```

この問題を回避するには、2つの方法があります。

- ◆ インストーラをコンソールモードではなくグラフィックモードで実行します。
- ◆ インストール時にコンソールモードを使用する場合、次の手順を実行する必要があります。
 1. 次のようにデータベーステーブルを作成します。
 - a. ユーザアプリケーションのインストールディレクトリの「ルート」にある Novell-Custom-Install.log ファイルを開きます。例: /home/lab/IDM370/idm
 - b. 次のようなエントリを検索します。

```
*****
If a failure is encountered while creating the tables, verify that
this string
is correct
If not , you can modify this string and copy/paste to a command
line to run
*****
```
 - c. 説明されているコマンドをコピーし、ユーザアプリケーションがインストールされているマシン上の端末に貼り付けます。
 - i. --databaseClass= のヌル値を次の正しい値で置き換えます。

```
--databaseClass=com.novell.soa.persist.MSSQLUnicodeDatabase
```

ii. `--driver=` のヌル値を次の正しい値で置き換えます。
`--driver=com.microsoft.sqlserver.jdbc.SQLServerDriver`

`--url=` のヌル値を正しい値で置き換えます。例：

```
--url=jdbc:sqlserver://  
myserver.novell.com:1433;DatabaseName=mydatabase
```

iii. データベースのユーザ名とパスワードとして表示されるアスタリスク (*) を実際の値に置き換える必要があります。

d. `<Enter>` を押します。インストール中に選択したオプションに応じて、テーブルまたは sql ファイルが作成されます。

2. JBoss JDBC 接続プールファイルを編集します (当てはまる場合)。

a. 展開ディレクトリにある `%context%-ds.xml` (例: `IDM-ds.xml`) を開きます。例：

```
/home/lab/IDM370/idm/jboss/server/IDM/deploy
```

b. 次のような接続 URL が表示されます。

```
<connection-url>myserver.novell.com:1433mydatabase</connection-  
url>
```

c. 接続 URL に正しい情報が含まれるように修正します。例：

```
<connection-url>jdbc:sqlserver://  
myserver.novell.com:1433;DatabaseName=mydatabase</connection-url>
```

d. ファイルを保存して閉じます。

1.43 SSO の認証ヘッダで猶予ログインカウンタが正しくない

ユーザアプリケーションの直前にアクセスゲートウェイが配置されていて、SSO が使用可能になっている場合、ログインするたびに、使用できる猶予ログイン回数が 2 つずつ減ることがあります (アクセスゲートウェイがない場合は、1 つずつ減ります)。ユーザのパスワードの有効期限が切れた場合、パスワードを変更するようユーザインタフェースが表示されます。ユーザは表示される指示に従って、適宜パスワードを変更する必要があります。

1.44 チームマネージャに対して関連付けレポートが機能しない

[関連付けレポート] ページは、管理者および標準ユーザに対してのみ機能します。チームマネージャの場合は機能しません。管理者が [関連付けレポート] ページのセキュリティを設定していて、このページをパブリックアクセス用に開いている場合、標準ユーザは、問題なくログインして自分の関連付けレポートを表示できます。一方、チームマネージャは、ログインしても、[ロックアップ] アイコンを使用してチームメンバーを検索したり、チームメンバーの関連付けレポートを表示したりすることはできません。

1.45 ユーザ CN で、より大きい記号およびより小さい記号がサポートされない

このリリースでは、ユーザアプリケーションでユーザの CN (または `workforceID` など、その他のログイン属性) に `<` 記号および `>` 記号を使用することはできません。`<` 記号または `>` 記号を使用すると、パスワードセルフサービス機能が正しく動作しなくなります。

1.46 OpenXDAS が使用可能になっていて xdasd が起動されていないと、サーバの起動に失敗する

OpenXDAS を使用して監査ロギングを行うようにユーザアプリケーションが設定されている場合、xdasd プロセスが実行されていないと、アプリケーションが適切に展開されません。サーバコンソールとログに次のようなエラーメッセージが表示されます。

```
2008-05-03 13:46:48,308 ERROR [com.sssw.fw.servlet.Boot:contextInitialized]
Un>com.novell.srvprv.spi.util.servlet.LogConfiguratorException: Error
Initialize >          at
com.novell.srvprv.spi.util.servlet.LogConfigurator.init (LogConfigur>          at
com.sssw.fw.servlet.InitListener.contextInitialized (InitListener.ja>          at
org.apache.catalina.core.StandardContext.listenerStart (StandardCont>          at
org.apache.catalina.core.StandardContext.start (StandardContext.java>          at
org.apache.catalina.core.ContainerBase.addChildInternal (ContainerBa>          at
org.apache.catalina.core.ContainerBase.addChild (ContainerBase.java:>          at
org.apache.catalina.core.StandardHost.addChild (StandardHost.java:55>          at
sun.reflect.NativeMethodAccessorImpl.invoke0 (Native Method)
    at sun.reflect.NativeMethodAccessorImpl.invoke (Unknown Source)
    at sun.reflect.DelegatingMethodAccessorImpl.invoke (Unknown Source)
    at java.lang.reflect.Method.invoke (Unknown Source)
    at org.apache.tomcat.util.modeler.BaseModelMBean.invoke (BaseModelMB
```

Then hundreds of:

```
2008-05-03 13:46:53,072 WARN [com.novell.soa.af.impl.core.EngineImpl:run]
Fai>java.lang.NullPointerException
    at
com.novell.soa.af.impl.persist.EngineStateDAO.updateHeartbeat (Engin>
    at com.novell.soa.af.impl.core.EngineImpl$HeartbeatTimer.run (EngineImp>
    at java.lang.Thread.run (Unknown Source)
2008-05-03 13:46:53,072 INFO [STDOUT:warn] XDas was not enabled
```

さらに、ワークフローハートビートスレッドが NULL ポインタ例外をスルーし、無限ループが発生する場合があります。

WebSphere では、OpenXDAS が例外をスローしてもユーザアプリケーションは起動しません。

この問題を回避するには、次のいずれかのステップを実行します。

- ◆ xdasd プロセスを起動し、アプリケーションサーバを再起動する。
- ◆ idmuserapp_logging.xml から OpenXDAS の appender-ref (<appender-refref="OpenXDAs"/>) を削除する。

1.47 共有またはコンテナページ名で、より小さい記号の後のテキストが切り捨てられる

ユーザインタフェースで、より小さい記号 (<) の使用が制限されているわけではありません。ただし、ページ名に < 文字が含まれていると、ページ名がページ管理コンソールに適切に表示されません。ページリストおよび [ページ名] フィールドでは、< 文字の位置でページの名前が切り捨てられます。たとえば、<Page という名前を使用すると、ページ

リストには空の行が表示され、[ページ名] フィールドには何も表示されません。Page という名前の場合は、ページリストには Pa、[ページ名] フィールドには Pa がそれぞれ表示されます。

このページ名はナビゲーションポートレットでは適切に表示されます。

1.48 デジタル署名をサポートするのに Internet Explorer 7.0 でプロテクトモードを無効にする必要がある

Internet Explorer 7.0 の Windows Vista バージョンでデジタル署名アプレットを実行している場合、次のエラーメッセージが表示される場合があります。

```
"The application's Digital Signature has an Error. Do you want to run the Application?"
```

この問題を修正するには、Internet Explorer でプロテクトモードをオフにする必要があります。

2 3.7 で修正された問題

この項には、IDM 3.6.1 Roles Based Provisioning Module Readme で説明されている問題のうち、IDM 3.7 Roles Based Provisioning Module で修正された問題のリストが含まれています。

- 1.1.4 ユーザアプリケーション用の MS SQL Server データベースをセットアップする
- 1.2 Cryptovision インストーラが間違ったバージョンのユーザアプリケーションを参照する
- 1.11 役割名に特殊文字が使用されていると、空の役割レポートが生成される
- 1.12 XSS エラーメッセージの情報が十分でない
- 1.14 log4j.jar が含まれていない場合に外部パスワード WAR にアクセスすると例外が発生する
- 1.16 WebSphere 上のユーザアプリケーションがトラステッドストアパスを検索できない
- 1.17 xmlsigner 1.4 を使用するとデジタル署名の確認が失敗する

3 マニュアルの表記規則

このドキュメントでは、「より大きい」記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します。

商標記号 (®、™ など) は、Novell® の商標を示します。アスタリスク (*) は、サードパーティの商標を示します。

4 保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. お

よびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出規制および他国の商法の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守して、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出に関する詳細については、「[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports\)](http://www.novell.com/info/exports)」の Web ページを参照してください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2008 Novell, Inc. All rights reserved. 本書の一部または全体を、書面による同意なく、複製、写真複写、検索システムへの登録、送信することは、その形態を問わず禁止します

米国 Novell, Inc. は、本文書に記載されている製品に実装されている技術に関する知的所有権を保有します。これらの知的所有権は、[Novell Legal Patents \(http://www.novell.com/company/legal/patents/\)](http://www.novell.com/company/legal/patents/) の Web ページに記載されている 1 つ以上の米国特許、および米国ならびにその他の国における 1 つ以上の特許または出願中の特許を含む場合があります。

Novell の商標については、[商標とサービスマークの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html) を参照してください。

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に属します。

